

第4回 町長の企業訪問 (11月17日訪問)

富士アルミ管工業 株式会社

- 経営理念
 - 1. 我が社は信用を第一とし誠実を旨とする
 - 2. 地域社会に貢献し共に繁栄を図る
 - 3. 好意と友情を深め何時も明るく職場とする
- 1. 常に革新を求めて時代と共に成長する
- 2. 常に感謝の気持ちを忘れない様に心がける

町内の企業・事業所を町長自ら訪問して、操業状況、雇用状況等を把握し、現在の要望、課題等を拝聴するとともに、産業振興、雇用対策及び企業・事業所の定着を図るため、第4回「町長の企業訪問」を実施しました。

問い合わせ 秘書広報室 (内線3111~3133)



▲懇談会の様子。写真正面左より、田嶋専務、増田社長、細谷秘書広報室長、鈴木町長。

第4回目は、富士アルミ管工業株式会社を訪問しましたので、その内容につきましてお知らせいたします。

当日は、代表取締役社長の増田さん、専務取締役の田嶋さんにそれぞれ懇談会でお話を伺いました。富士アルミ管工業(株)は、昭和40年6月に三芳町北永井に創業と同時に本社及び工場を開設いたしました。その後、業績は順調に推移いたしました。昭和55年11月埼玉原朝霞

市に富士アルミ管工業ビルを建設されました。その後の業績も好調を続け、更なる業務拡大を目指して、平成4年3月に1万坪の敷地に山形工場をオープンし、増築を重ねて現在に至っていることとなりました。また、山形工場は、平成17年2月にISO14001を取得、翌年の3月には同9001を取得するなど、品質管理についても徹底され、常にお客様の立場に立った会社経営をすすめているとのことでした。



▲製造工程について、鈴木町長に説明をする増田社長(写真右)

と誓った事があるそうです。それは2期連続して赤字決算になった場合は、即座に社長を辞任すると決めたそうであり、利益の恩恵は社員と共に分かち合うことにより、社員の会社に対する愛着を常に持ち続けてほしい。その方針どおり会社経営を進めてきた結果、就任してから今日までの間、たった一度も赤字決算になったことがありませんと話しておられました。

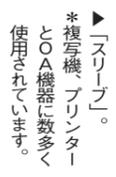
また、「常に全力を尽くした経営」を心掛けており、その誠実な仕事ぶりや間違いのない製品出荷に対して、国内大手OA機器メーカーの殆どの企業より注文をいただいているそうです。増田社長の経営方針で、当社の客先はグローバル企業が殆どですが、増田社長の経営方針で、当社の客先はグローバル企業が殆どはありますが、どんな大手企業からの依頼や妙味のある仕事が増えても、その会社1社からの受注額は、富士アルミ管工業(株)の売上高の25%以内を目標にしており、万が一その取引先よりの受注が大幅に減少してきて

も大きな痛手を被らずに済むよう、安全・健全そして全員参加の経営をモットーとしているそうです。

富士アルミ管工業株式会社【製造業】
 住所：〒354-0044 三芳町北永井822
 TEL：049-258-3896 FAX：049-259-8324
 HP：http://www.fujialumi.co.jp/
 設立：昭和39年10月
 (創業：昭和31年11月)
 主要生産品目：アルミニウム引抜管の製造販売、OA機器部品の切削加工・組立、その他



製品は、アルミニウム引抜管の製造販売、OA機器部品の切削加工・組立等が主です。特にレーザービームプリンターについては、世界シェアの50%ほどを占めているとのことでありました。



富士アルミ管工業の取引先は、TDK(株)、キャノン(株)、富士ゼロックス(株)、リコー、コニカミノルタ(株)、パナソニック(株)などです。



増田社長は、鈴木町長に対して「町長も社長と同じ経営者の立場ですね」と言っていたことがとても印象に残っています。



増田社長は、鈴木町長に対して「町長も社長と同じ経営者の立場ですね」と言っていたことがとても印象に残っています。



京セラミタ(株)等であり、国内でOA機器を取り扱う殆どのメーカーであります。増田社長は、山形工場所在地の白鷹町職員と、富士アルミ管工業(株)の従業員が交流を重ねる他、他社との交流も積極的に行っており、地域に貢献し、共に発展するよう心掛けており、こうした交流もあってのことか、山形で採用した地元の工業高校出身者は、15年を経過した現在でも、退職者は一人もいないそうです。

冬のHPIライフ

あなたが主役、部屋と地球の温度管理

暖房などによりエネルギー使用量が増える冬、県と町では今年も温暖化対策キャンペーンを実施します。

地球温暖化を食い止めるには、皆さんの取組が、重要な力ぎを握っています。温暖化対策は一人ひとりが主役です。身の回りのできることから、冬のライフスタイルに取り組みしましょう。

問い合わせ 自治環境課 (内線2622~2664)

キャンペーン期間 3月20日まで

冬のライフスタイル実践

カーディガンやベストなどを重ね着したり、暖かい下着を着るなど、暖かく過ごす工夫をして、暖房温度を適温(20℃以下)に設定しましょう。また、こまめな消灯、電源オフなど、身近な省エネ活動をお願いします。

年末・年始のお買い物はマイバック持参で!

冬のHPIライフ

「この日は、一日、環境にいいことをしよう」と決めて、「エコライフDAY」に挑戦してみ



ませんか。省エネ・省資源の成果をチェックシートで把握していただきます。

自治会、学校、団体、企業単位で、又は、県のホームページからも参加できます。

(http://www.prefsaitama.lg.jp/A09/BE00/ecolifeDAY.html)

なお、町内小・中学校全校及び淑徳大学、高齢大学竹間沢教室で実施します。

ご家族も一緒に参加してください。

町では教育委員会の協力を得て、小学校5校・中学校3校・淑徳大学で夏のエコライフDAYを実施しました。

実施日 7月6日

参加人数

小学校 2,992人

中学校 540人

淑徳大学 202人

(児童・生徒・教職員・家族)

合計 3,734人

二酸化炭素削減量

2,235,758g

一人当たり598.8g

(杉の木160本が1年かけて吸収する量にあたります。)

問い合わせ

自治環境課環境衛生係

(内線2622~2664)

埼玉県環境部温暖化対策課 048-18301303030

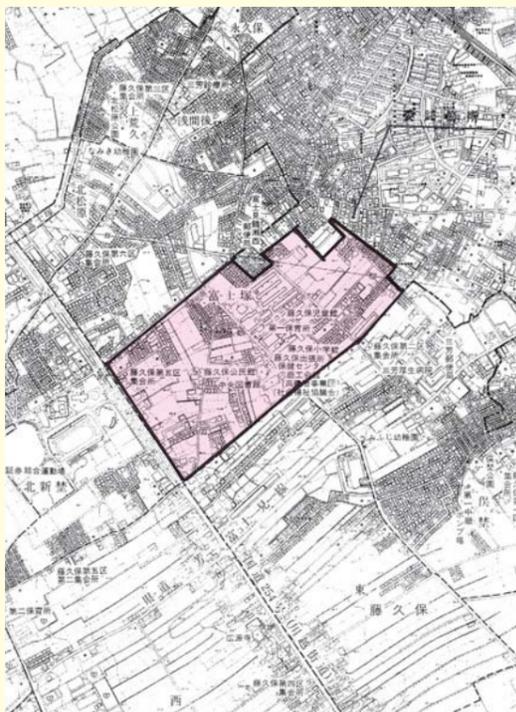
藤久保第2区・5区の一部の漏水調査を実施します

漏水調査を次のとおり実施します。この調査は、町から委託を受けた業者が、皆さまのお宅の止水栓や、メーター周りの漏水を調査するものです。

調査員は、水道事業管理者発行の身分証明書を随時携帯し、写真のような腕章をしています。不審な点がありましたら、水道課へ問い合わせください。ご協力をお願いいたします。

問い合わせ 水道課 (内線252)

調査区域



委託業者 (株)日本漏防コンサルタンツ
 調査期間 1月13日から3月10日まで
 調査区域 藤久保地区内
 (藤久保第2区・5区の一部)

※調査員は、他の調査を進めたり、各種器具の購入の勧誘は、行っておりません。